

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／音楽学概論 (Introduction to Musicology)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	メンデルスゾーンのオラトリオ《パウロ》と《エリヤ》		
担当者名 (Instructor)	星野 宏美(HOSHINO HIROMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC2430	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	基礎科目(一般) 定員:30名		

#### 授業の目標(Course Objectives)

専門書の記述を理解し、関連文献を自ら探索、読破した上で、最終的に自らの考えをレポートにまとめる。

In this course, students will learn to engage with texts on aesthetics, seek and peruse relevant literature on their own, and write reports that articulate their thoughts on the subject.

#### 授業の内容(Course Contents)

下記テキストの後半の講読を核にした講義。新約聖書および旧約聖書を題材としたメンデルスゾーンのオラトリオ《パウロ》と《エリヤ》に焦点をあて、歌詞と音楽の分析を交えて論じる。履修者が自らの経験や問題意識と結びつけて作品や演奏のあり方を把握し、音楽について独自の考えを美学的、学術的に深めるよう促す。音楽への学問的アプローチであり、いわゆる音楽鑑賞ではない点に留意してほしい。音楽と音楽史の基礎知識を前提とするので、積極的な関心と意欲が必須。

Lectures for this course will be primarily based on reading material (second half of the text mentioned below) combined with examples of musical pieces (Mendelssohn's Oratorios "Paulus" and "Elias"). This course will take a scholarly approach to music and students should be aware that it is not a music appreciation course. Students should also have a basic knowledge of music and music history, be actively interested in music and demonstrate a desire to learn more.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 導入
2. オラトリオとは(演奏場所、演奏者、演奏目的、題材、歌詞、編成、規模)
3. 《パウロ》におけるコラール(ルター派会衆歌)使用の問題
4. 《パウロ》におけるイエスの表象
5. 《パウロ》における暴動と死の描写
6. 《パウロ》におけるユダヤ人、異邦人、キリスト教徒
7. 《エリヤ》におけるカタストロフの描写
8. 《エリヤ》における天使の表象
9. 《エリヤ》における英雄像
10. オラトリオ題材の選択とメンデルスゾーンの出自(ユダヤ出自のプロテスタント教徒)
11. 同時代オペラとの関係
12. バッハ作品との類似
13. 芸術と人生の同一視(音楽家の神格化と作品解釈)
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

図書館所蔵の音楽事典類、AVコーナーの資料等を活用されたい。授業中に随時、具体的な活用法を紹介する。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

毎回の授業への参加度(60%) / 最終レポート(Final Report)(40%)  
単位修得のためには 3/4 以上の出席が必要。

#### テキスト(Textbooks)

1. 星野宏美、2022、『メンデルスゾーンの宗教音楽 バッハ復活からオラトリオ《パウロ》と《エリヤ》へ』、教文館 (ISBN:978-4-7642-6161-7)

#### 参考文献(Readings)

授業中に適宜指示する。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

テキストを用意して授業に臨むこと。

注意事項 (Notice)